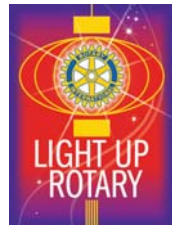




2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC 1 月第 4 例会 (2015.1.27) No.3072

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

みなさま、今日は新年のお忙しい中ご参集頂き、洵にありがとうございます。すでに準備も整い、一刻も早く宴に移りたいところではございますが、ロータリークラブの例会日であることに変わりはございませんので、どうかしばしのお時間を御辛抱頂きたく存じます。

では、本日の会長挨拶をさせていただきます。

去る 1 月 13 日の会長挨拶では、新春のお茶席の掛軸などで好まれる言葉として「山呼萬歳聲」についてお話させていただきましたが、本日はまた別な言葉を取り上げたいと思います。

お配りした小冊子を御覧下さい。(本日はコンピュータもプロジェクタも無いので、紙の冊子を会長挨拶の配付資料とさせていただきます。表紙には「春は千林に入る處處に花」という言葉を認めてございます。これとよく似た言葉で「春は千林に入る處處に鶯」という言葉がありますが、それは千利休の孫である千宗旦がこの句を書き換えたもので、もともとは今から 800 年ほど前の中国の居簡というお坊さんの言葉のようです。

さて、この言葉は、禅宗の言語として解釈する場合には、春にはどこの林や野にも草木が芽吹き花が咲くように、森羅万象すべてに平等に仏の世界が行き渡り、人みな仏性のない人はいない、という意味になるようです。しかし、宗教的な意味は考えなくても、実に季節感にあふれた言葉で、春を迎えて明るい喜びが膨らんでいく様子を素直に思い浮かべて楽しんで良からうと思います。本日は、たくさんのゲストがいらして下さり、常の例会とは異なって艶やかなご婦人の姿の多いことは、まさに至るところに花が咲いたようであります。本日の例会に相応しい、春を言祝ぐ言葉かと思ひ、取り上げさせていただきました。

そして、この言葉を取り上げましたことには、もう一つ思うところがございます。春に咲く花はいろいろございますものの、春になったのだなあと初めて実感させてくれる花とは何でしょうか。それはやはり、梅の花でございましょう。厳しい冬が終わり至る所で梅が花開く様子が、この言葉から想像されます。

さてそこで、梅の花のいったいどのようなところが素晴らしいのでございましょうか。一つには、紅梅白梅という言葉がありますように、清楚な姿に散りばめられたお目出度い色合いの美しさがございましょう。しかし、梅の花が愛でられた理由はそれだけではございません。ここで、小冊子を一頁おめくりくださ

い。

古今和歌集を繙きますと、次のような紀友則の歌がござい

君ならで 誰にか見せむ 梅の花
色をも香をも 知る人ぞ知る

この歌の趣旨は、＜あなたでなければ誰に見せたらいいのでしょう、この梅の花を。色にせよ香りにせよ、ものの美しさを解するあなたにだけ分かっていただけなのです＞というものです。この歌に表れているように、梅の花の素晴らしさのもう一つは、その馥郁たる香りにございます。

この香りについて、さらに次のような歌がございします。小冊子をもう一頁おめくり下さい。

色よりも 香こそあはれと おもほゆれ
誰が袖ふれし 屋戸の梅ども

この歌の趣旨は、＜わが家の庭前の梅は、色よりも香りこそ素晴らしく思われる。いったいどなたが袖を触れて、その移り香を残した花なのだろうか＞というものです。梅の色と香りについて、香りのほうに気持ちが傾いているようでございます。実は、古今和歌集で春の歌を集めた巻第一では、梅の花の歌は 19 首ありますが、そのうち 14 首が香りに関するものでございまして、いかに梅の花の香りが愛でられていたかが察せられます。

それほどに香りが素晴らしいものでありますため、梅の花には他にはない特別な風情が生まれて参ります。そこでまた小冊子を一頁おめくり下さい。

梅の花 にほふ春べは くらぶ山
闇にこゆれど しるくぞありける

この歌の趣旨は、＜梅の花が美しく咲き匂う春には、くらぶ山はその名のごとく暗い闇夜に越えたところで、何しろ馥郁たる香りで、花の咲いているあたりは紛れもなく分かることであるよ＞というものでございます。つまり、他の花であれば愛でることがかなわない闇の中でも、梅の花は、その香りによって、あたりが暗くても人々に感動を与えるのであります。

ここで皆様に思い出して頂きたいのは、1 月 13 日の会長挨拶で取り上げました、ロータリークラブ誕生のエピソードであり

ます。1905 年、殺伐とした世相の中、ビジネスの契約を結んでもどういふ結果になるかわからないような、一寸先は闇のシカゴにあって、職業人の信頼関係を立て直すことを目指し、世の人々の共感を得たのが、ロータリークラブの始まりでした。まさに闇の中の、馥郁たる梅の花の香りのようなだったのです。

そしてまた、先週 1 月 20 日の会長挨拶で取り上げたエピソードも思い出して下さい。経済効率が優先され、生活環境が著しく汚染されていた 1907 年のシカゴで、ロータリークラブは、初の社会奉仕プロジェクトとして公衆衛生に一石を投じ、2 年をかけて利害の対立を乗り越え、街の衛生環境を向上させたのでした。公衆衛生についての見通しが暗いなかで、導きとなったのがロータリアンだったのです。

まさに梅の花のように、経済発展の明るい日差しの中でも活躍し、殺伐とした世相の闇の中でも世の人々に感動と共感を与える振る舞いをするというのは、なかなかできることではありませんが、ロータリアンの理想なのだろうと思われます。

さて、再び表紙を御覧下さい。「春は千林に入り、處處に花」。新春を言祝ぐ今宵、至る所に咲き誇る花とは皆様のことに他なりません。本日ここにご参集の方々は、まさに梅の花のように、世の中が明るい光の下で繁栄している時代には、鮮やかなご活躍によって世の人々の目を奪い、他方また、様々な問題が現れる暗い世相の時代であろうと、馥郁たる香りを放つ振る舞いによって世の人々に感動を与え導きとなる役割を担っております。

ロータリアンである皆様が、梅の花のように咲き誇り、弥栄に榮えますことを祈り上げまして、平成27年新年家族会の会長挨拶とさせていただきます。

(3) ゲストの紹介

大谷正雄名誉会員とお孫さん、元会員、ご家族 17 名

(4) 本日の出席率 64.59 %

(2 週間前メーク後 86.60 %)

2 月 3 日の例会予定

会員スピーチ「LNG 情勢について」

日本海エル・エヌ・ジー(株) 取締役社長 八島 進君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

新年家族会懇親会

於 行形亭

- 16:45 親睦委員 行形亭集合
- 17:00 受付開始
- 17:45 例会開始
- 18:15 宴会開始
挨拶 岡村親睦委員長
- 18:16 乾杯 横山パストガバナー
- 18:20 古町芸妓 手踊り
- 18:40 歓談
- 18:50 万代太鼓 飛龍会(20 分)
- 19:10 歓談
- 19:20 各種お祝い贈呈
(年男 7 名、還暦 3 名、古希 4 名、
喜寿 2 名、長寿 7 名、成人祝 4 名)
- 19:50 中締め 安藤栄寿幹事
- 19:53 「手に手つないで」合唱
- 20:00 お開き



國版出典
岡田為春画 聯珠百人一首 明治三十八年刊

平成二十七年
新潟ロ・トリックア 新年家族会

春入千林處處花

北湖居蘭澤師語錄



君をうて

誰か見せし

梅の花

色をも香をも

知る人ぞ知る

紀友則

古今 春第一 春歌上 三八



色より

香、そありけと

おもはゆれ

誰か袖ふれ

屋戸の梅ぞも

美人より

古今 春第一 春歌上 三三



梅の花

にはふ春べ

くらふ

聞にふれ

さるぞありける

紀貫之

古今 春第一 春歌上 三九